

KRYSTIAN ZIMERMAN  
PIANO RECITAL

# クリスチャン・ツイメルマン

ピアノ・リサイタル

カラヤン、小澤征爾、バーンスタイン  
多くの巨匠と共演してきた  
世界最高峰のピアニストが贈る至高の時間



© Bartek Barczyk

2025年 11月16日(日)  
(令和7年)

17:00 開演 (16:15 開場)

入場料 ※未就学児入場不可

|    | S 席     | A 席     | B 席    | 学生(B席) |
|----|---------|---------|--------|--------|
| 一般 | ¥9,000  | ¥7,000  | ¥5,000 | ¥2,500 |
| ペア | ¥17,000 | ¥13,000 | ¥9,000 | —      |

【チケット取扱所】

ふくやま芸術文化財団オンラインチケット、リーデンローズチケットセンター  
神辺文化会館、沼隈サンバル  
ローソンチケット (Lコード:62241) チケットぴあ (Pコード:292-879)

プログラム未定 ※決定次第Webサイト等でお知らせします

リーデンローズ 大ホール

チケット発売日

友の会 8月9日(土)

一般 8月16日(土)



公演情報・  
チケット購入は  
こちらから

お問合せ

リーデンローズ TEL:084-928-1810  
〒720-0802 広島県福山市松浜町二丁目1番10号  
<http://fukuyamabunkahall.jp/r-rose>



【お願い】客席内での写真撮影、録音、録画、携帯電話の使用、  
またはこれらに類する行為は固くお断りいたします。



令和7年度 文化庁

劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

主 催: 福山市、(公財)ふくやま芸術文化財団 ふくやま芸術文化ホール、広島ホームテレビ

# リーデンローズで録音されたCDは 英・グラモフォン賞 2023「録音賞（ピアノ部門）」を受賞！ 最高の音響を誇るホールで、世界的巨匠の演奏をお楽しみください。

「今、世界で望み得る最高のピアニスト」と評されるクリスチャン・ツィメルマン。その輝きの裏には、「完全」を目指して一切の妥協を許さない、音楽へのひたむきな取り組みが隠されている。

ツィメルマンの「完全」への追求の第一歩は、徹底的な作品研究にある。楽譜上のあらゆる細部に至るまでメスを入れ、その微細なパーツひとつひとつを磨き上げていく。そして、次のステップとして演奏の実践において、「完璧」な技術によって作品全体が再構築され、全てが研ぎ澄まされた圧倒的な存在として表出される。

また、ツィメルマンは使用する楽器についても「完全」を求める。自らがピアノ技術者となり、自分が望む最高の音を求めて楽器を調整する。彼にとって、演奏する作品によって楽器に求める音は異なり、プログラムに合わせて、また演奏会場のアコースティックに合わせて、途方もなく緻密な調整が行われる。

ところで、リサイタルのプログラムについて、ツィメルマンは、できるだけ遅く出すようにしたいと語っている。その理由を彼は、レパートリーというのは「飢え」のようなものであり、リサイタルに臨んで、その時に真に演奏したいと「渴望」する作品を、自分の心に誠実に弾きたいからだ」と説明している。

「完全」なる準備が為され、「渴望」する心の奥底が曝け出されることで、ツィメルマンの感動的なステージが、私たちの前に立ち現れる。

水戸芸術館 副館長  
中村 晃

## クリスチャン・ツィメルマン（ピアノ）

ピアノという楽器を熟知した、緻密で完璧な演奏により、多くの巨匠たちと共演してきた現代最高峰のピアニスト。

ポーランド生まれ。音楽家だった父親が友人らと毎晩、音楽に興じるのを聴いて育った。5歳からピアノの手ほどきを受け、7歳でポーランドのピアニスト、アンジェイ・ヤシンスキに師事し、本格的に音楽を学んだ。1975年、弱冠18歳で「ショパン国際ピアノコンクール」で優勝。翌年、ドイツ・グラモフォンよりレコード・デビューを果たし、ヘルベルト・フォン・カラヤン、レナード・バーンスタイン、小澤征爾ら多くの巨匠と共演。「人生で出会ったもっとも興味深い音楽家」と評する指揮者で作曲家のバーンスタインとは15年以上にわたり、たびたび共演。2018年のバーンスタイン生誕100周年の際、彼の交響曲第2番『不安の時代』を世界の主要都市で演奏。

ショパン没後150周年(1999年)の前年には、ポーランド出身の音楽家で編成した「ポーランド祝祭管弦楽団」を結成。ショパンのピアノ協奏曲の公演を精力的に行った。また、ベートーヴェン生誕250周年(2020年)には、指揮者のサイモン・ラトルと共に、この楽聖のピアノ協奏曲を全曲再録音した。1978年以来、たびたび来日し、2003年には東京にも自宅を構えたほどの親日家。「ピアニストは楽器に興味をもつべきだ」が持論。自ら調律し、組み立てるなどピアノのメカニズムや音響学に精通し、作品解釈を極めることが、精緻で繊細な演奏を支えている。フランスのレジオン・ド・ヌール勲章受賞(2005年)、ポーランドにおける民間人の最高勲章である、星付きコマンドルスキ十字勲章(Polonia Restitua Commandeur Cross with Star)(2013年)など、栄誉ある名誉博士号や勲章を受賞。2022年には第33回高松宮殿下記念世界文化賞音楽部門を受賞。本年10月4日にクラシック界で最も権威のある賞の一つである英『グラモフォン賞 2023』『録音賞（ピアノ部門）』を「シマノフスキ：ピアノ作品集」で受賞。



© Bartek Barczyk

子供たちが多様な文化芸術を鑑賞する機会を提供するため文化庁の「令和7年度 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」として18歳以下の子供（平成19年〈2007年〉4月2日以降に生まれた方）をご招待いたします。

ご希望の方は、申込フォームに必要事項を記入のうえ、お申し込みください。

- ※1 対象は【小学生以上、18歳以下】です。
- ※2 定員は200人です。
- ※3 小・中学生の場合は、必ず保護者の方の同伴が必要となります。保護者の方は当日保護者席券（1人2,500円）を別途ご購入ください。保護者席は子供席の隣となります。
- ※4 応募多数の場合は抽選となります。
- ※5 座席・座番はお選びいただけません。抽選によりこちらで事前に関決定させていただきます。
- ※6 申込期限：2025年9月1日（月）から10月10日（金）まで  
当選された方には「招待状」を郵送します。当日必ず持参し、会場で本人が学生証など年齢が分るものをご提示のうえ、入場券と引き換えをしてください。

